



あまりにも拙速です

宮城県などは この3月にも結論を出そうとしています

いまこそ、町民の意思をしっかりと示そうではありませんか

問われているのは、原発の是非ではありません

プルサーマルを許すかどうかです

県は対話フォーラムや検討会議、県民の意見募集と事務的にことを進め、3月にも結論を出そうとしています。

使用済みMOX燃料の行き場がない

使用済みMOX燃料の処理・処分は未定です。これからの検討課題です。猛毒のプルトニウムが入っている使用済みMOX燃料の処分場を引き受ける自治体は考えられず、半永久的に女川に？

制御棒の効きが悪くなる安全が削られる

推進の科学者も制御棒の効きが悪くなるなど安全が削られることは認め、余裕があるから大丈夫といっています。しかしし重大事故は想定外のことになり起きるものではありませんか。

MOXの国の審査基準がない労働者の被曝が心配です

MOX燃料の品質を審査する国の基準がなく、メロックス社製造のMOX燃料について、関西電力は独自の基準で16体中4体を不合格としました。また、MOX燃料から放射線が出され、労働者の被曝が心配されます。

資源の少ない日本、資源の有効活用といいますが、再生可能(自然)エネルギーの活用こそ、みんなの願いです。

地元の同意焦点に

【解説】東北電力女川条件に「安全性の確認」原発3号機のプルサーマルと「住民の理解」を挙げ、国は安全審査している。女川町、石巻市、意見募集の結果などを参考し、県民の理解状況を2005年7月8日、16日宮城

九州電力玄海原発3号機で11月、国内初のプルサーマルが始まったが、東京電力の原発トラブル隠しなどで国内での導入は当初予定より10年遅れた。女川原発の計画でも2005年7月8日、16日宮城

12月25日河北新報

これまで長い間、女川原発問題で町民の皆さんの意思を表明する機会とは与えられてきませんでした。今度こそ、プルサーマル問題で、町民の皆さんのご意思が示される

機会をつくりたいと考え、私たち二人の町議会議員に議会から支給される政務調査費を活用し、全世帯向けにアンケートを実施することにいたしました。ぜひご協力ください。

「再処理工場本当に動くのか最終処分場も決まらないプルサーマルはその後でもいいのではないのか」対話フォーラム女川会場で、「使用済み燃料は当面中間貯蔵をし、再処理や最終処分場が決まってから、プルサーマルはその後でいいのでは」との質問が出ました。住民の率直で的確な意見ではないでしょうか。世界ではプルサーマルをやめる国が続出しています

現在プルサーマルを実施している国はフランス、ドイツ、スイス、ベルギーの4カ国だけ、やめた国がアメリカ、イタリア、インド、オランダ、スウェーデンの5カ国、一度も実施していない国が26カ国です。

「トラブル続きの女川原発では」「宮城県沖地震が予想されるのだから」

女川の町民が口をそろえて話するのは、女川原発はあまりにトラブルが多すぎ、隠し事が多いということでした。また、宮城県沖地震が予想される中で、どうしてプルサーマルをしなければならぬのか、やめるべきという声も聞かれます。

女川町議団(高野博、阿部律子)ニュースNO.1
連絡先 53-3614(高野) 54-2562(阿部律子)
2010年1月8日 女川町清水町4-4

町民の皆さん、プルサーマル計画のアンケートにご協力ください